

# 新幹線プレス



2024年3月2日

No.657

発行者 伊藤一也

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

## 年休裁判控訴審不当判決を許さない！

### 労働者の権利を否定する流れに抗してこれからも闘う



#### 原告6名怒りの決意

残念な結果だが6年間の闘いは無駄ではない。  
職場は再び休日出勤が拡大し年休が取れなくなっている。上告して闘う！



#### 共に闘ってきた弁護団の渡辺先生・長島先生・仲田先生



#### 共に闘ってきた毛塚勝利先生・竹信三恵子先生

アベノミクスは経営側が動きやすい国にするために労働者の権利を否定した。こういう動きが裁判に反映している。不当判決は日本の縮図だ。

#### 不当判決の一部を紹介します

余裕をもって乗務員を配置するとすれば～乗務員の人件費が増大する～列車運行本数の増加に伴い運行や車両整備等に関する経費も増大し～乗務員のモチベーション維持の観点からも～

#### 裁判所は会社の代弁者か！

(廣瀬さんの年休が)勤務日とされたことを受けて(旅行が)キャンセルしたなどの事情を認めるに足る証拠もない

#### こんな判決小学生でも書けるぞ！

下を向いて小声で判決を読んだ裁判官は組合側とは目を合わせず、会社側ばかり見ていた。